

# 「看取り」での経験を語る会 開催のお知らせ

医療には、医師や看護師など専門職に加えて、ボランティアが大切な役割を果たします。それは、病に苦しむ人にとって、ボランティアの存在が医療という狭い世界から外の普通の世界への窓ともなるからです。そのためには、ホスピス・ボランティアとしての基礎から実践まで学ぶことが求められます。

当財団のホスピス・ボランティア養成研修講座を受講した卒業生が設立した団体である『神戸つむぎの会』のみなさまと協力して、「看取り」での経験を語る会を開催致します。ひとりでも多くの方にご参加頂ければ幸いです。

## 日時

平成 30 年 2 月 18 日

午前の部 10:00～12:00

午後の部 13:30～17:00

## 場所

兵庫県私学会館 302 号室

神戸市中央区北長狭通 4 丁目 3-13

午前の部 看取りについての勉強会 ～万葉集から今日まで～  
西村医院 副院長 谷田憲俊 様

午後の部 医師・家族の両方の立場から経験した看取り  
神戸国際医療交流財団 代表理事 後藤章暢 様

独居の方の看取りの経験について  
訪問看護ステーションわたぼうし 船越政江 様

看取りを語ろう ～医師の立場から～  
長尾クリニック 院長 長尾和宏 様

## パネルディスカッション

長尾和宏 様 船越政江 様 後藤章暢 様

ファシリテーター 谷田憲俊 様

定員 100 名

参加費 無料

【主催】公益財団法人 神戸国際医療交流財団

【共催】神戸つむぎの会

【助成】公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

